

保 管

- 保管は直接日光や雨の当たる場所を避け、パレット等平らな面に平積みしてください。
- ※開梱後、長時間放置すると変形や反りが発生することがあります。開梱後はすみやかに施工してください。
- ※立てかけて保管や放置すると変形や反りが発生することがありますので、絶対行わないでください。

加 工

① 切断

- 電動丸鋸で切断が可能です。
- ※商品はスチールを使用していますので鋸刃は、金属用チップソー（サーメットチップソー推奨）をご使用ください。
- ※切断中、粉塵が発生しますので、作業は防塵マスク、防護メガネを着用して行ってください。
- 化粧面を必ず養生してから切断をしてください。
- 切断後はサンドペーパー中目（＃120～＃240）またはヤスリをかけ、切断面は防錆処理を行ってください。
- （耐食性の高い銅板を使用しておりますが切断面は防錆処理を行ってください。ヤヨイ化学工業株式会社「ピスター」推奨）



施 工

① 注意事項 火気使用場所の施工

- コンロ側面及び後方から 150mm 以上離れるように設置してください。
- 150mm 以上離せない場合、変色やコゲが発生する場合がありますので防熱板を設置してください。
- ※防熱板と壁面の間にすき間があくよう設置してください。
- ※変色やコゲが発生しても不燃性能には影響ありません。
- ※コンロ廻りの壁面構造は各自治体の条例によって規制されます、規制に従った構造にしてください。

② 施工準備

- 製品重量が重いため、複数名での施工をおすすめします。

③ 下地の確認

- 下地は十分に乾燥させた状態で施工を行ってください。
- 下地は入念な下地処理を行い、不陸が無いよう平滑にしてください。
- クロス仕上げ、塗装仕上げ、化粧シート、コンクリート、ALC への直貼りはできません。

推奨下地

- ・せっこうボード
- ・ラワン合板（9mm以上）
- ・ケイカル板（6mm以上）

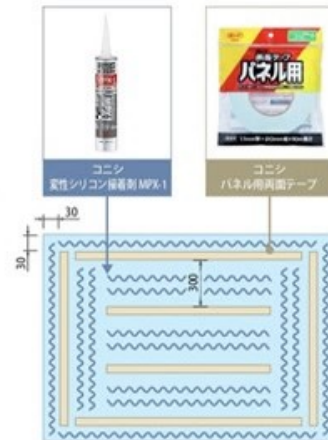
④ 墨出し・割付け

- 化粧材の目地と下地ボードの目地が合わないようには割り付けてください。
- 2 枚以上のボードを連続貼り付けする場合、ボードは温度・湿度により膨張・収縮がありますので、突き付けは行わず、ジョイナーやシーリング収まりで仕上げてください。
- ※ジョイナーの差し込み部にはあらかじめシリコーン系目地剤を充填してからピタバンに装着し、下地に水がまわらないようにしてください。

➡ P2に続く

⑤ 両面テープの貼り付け・接着剤の塗布〈TM工法〉

- ピタバン裏面の上下左右端部10mmの位置と中央に両面テープをピッチ約300mmで図のように貼り、強く押さえて密着させてください。
- ※両面テープ使用量は約5.5m/mを目安としてください。
- ※コニシ バネル用両面テープ 1.1mm 厚 ×20mm 幅推奨
- 変性シリコン接着剤 MPX-1 のノズルを直径 7mm となるようにカットしてください。
- MPX-1 を図のようにビード塗布してください。
- ※接着剤の使用量は 0.5 本 / m²
- 目安 ・910×1,820mm に 3/4 本（約 250ml）使用
・910×2,450mm に 1 本（約 333ml）使用



⑥ ピタバンの貼り付け

- MPX-1 を塗布後 10 分以内に化粧材を所定の位置に貼りあわせてください。
- テープの位置を手で押さえてピタバン中央に浮きが発生しないよう十分に密着させてください。
- ※ピタバンの特性上、ソリが発生している場合がありますので、必ず浮きがないよう確認してください。
- ずらし等のやり調整が出来ませんので、注意して施工してください。

⑦ 養生

- 接着剤が硬化するまで、1日養生をお願いいたします。

お手入れ

- 表面の柔らかいスポンジ・布で乾拭き又は希釈した中性洗剤を使用し、良く吹き上げて乾燥させてください。
- ※傷の原因になりますので、たわし類、漂白剤、アルカリ洗剤、酸性洗剤は使用しないでください。